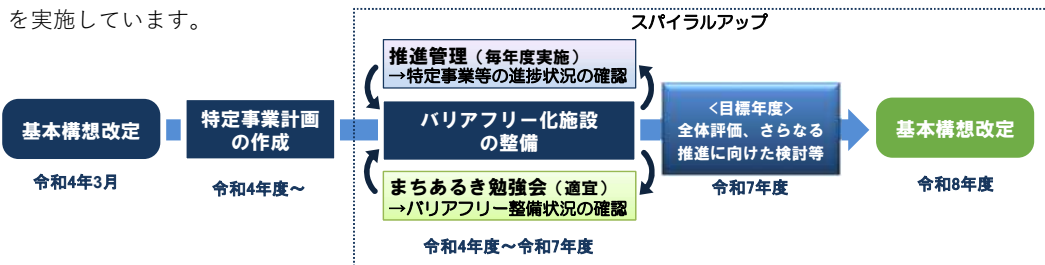


まちあるき勉強会はなぜ必要？

基本構想に位置づけた事業等のバリアフリー整備状況について、市民参加型で確認し、いただいた意見に留意した整備を行うなど段階的・継続的な取組（スパイラルアップ）を行うことで、誰もが使いやすい施設や経路のバリアフリー化を進めていくことができます。その一環として『まちあるき勉強会』を実施しています。



【確認成果の活用】

- ご意見を令和8年度に改定する基本構想に示す目標等に反映するとともに、課題として指摘された点について各事業者が取り組む特定事業に位置づけていただくよう働きかけを行います。
- 道路管理者や事業者にご意見を情報提供し、できるところから改善していくとともに、とりまとめたご意見を今後予定している他地域の整備でも反映できるようにします。
- 課題が改善された点や整備後に新たに気づいた点などを整理し、市内のバリアフリー化に関する取組について、市民のみなさまに広く情報を発信していきます。

継続的な取組を進めます

市では、“みんなが創って育てるバリアフリーのまち”の実現を目指し、高齢者・障害者等の市民や事業者、学識経験者等からなる「バリアフリー専門部会」で特定事業等の進捗状況を定期的に確認します。また、継続的に『まちあるき勉強会』を実施し、バリアフリー整備状況について市民参加型で確認していきます。さらに、バリアフリーに関する周知活動も積極的に進めていきます。

ホームページで「さいたま市バリアフリー基本構想」をご覧になることができます。さいたま市のホームページから、以下に従ってお進みください。

さいたま市のホームページ <https://www.city.saitama.lg.jp/>

【閲覧手順】トップページ▷暮らし・手続き▷まちづくり・交通▷交通・道路・駐輪場▷交通政策▷バリアフリー▷さいたま市バリアフリー基本構想について

今後も、まちあるき勉強会を実施した際は、結果をお知らせしていきます。



さいたま市 都市局 交通政策部 交通政策課
〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6-4-4
電話: 048-829-1053 F A X : 048-829-1979
e-mail: kotsu-seisaku@city.saitama.lg.jp

資料3-2-1

Barrier Free



みんなが創って育てる バリアフリーのまちづくり

『武蔵浦和地区まちあるき勉強会』を実施しました！



令和7年度まちあるき勉強会は、基本構想改定にあたり、最新の状況を把握するため

＜武蔵浦和駅周辺＞で行いました。

確認対象施設

JR武蔵浦和駅、東西駅前広場、歩行者デッキ、ヤオコー武蔵浦和店、周辺道路 など

バリアフリー化の推進

さいたま市では、令和4年3月に改定した「さいたま市バリアフリー基本構想」に基づき、市内のバリアフリー化を進めています。

さいたま市バリアフリー基本構想では、市内のバリアフリー（※1）化の目標や事業推進の考え方を示すとともに、旅客施設を中心として高齢者や障害者等が利用する施設が集まる地区を重点整備地区（※2）に設定し、地区内のバリアフリー整備に係る具体的な事業等（＝特定事業等）を位置づけています。



※1 バリアフリー：高齢者や障害者をはじめ、妊産婦や乳幼児連れの方、けが人などが社会生活をしていく上で障壁（バリア）となるものを除去（フリー）すること

※2 重点整備地区：大宮地区、北浦和地区、浦和地区、さいたま新都心・北与野地区、武蔵浦和地区、岩槻地区

武蔵浦和駅周辺のバリアフリー整備状況とまちあるき勉強会での市民意見を紹介します！

<武蔵浦和地区まちあるき勉強会 実施概要>

日時：令和7年10月14日(火)13時00分～16時00分

参加者：計15名(高齢者・障害者等の団体代表者、公募市民、学識経験者など)

当日のながれ：当日の概要の説明 ⇒ まちあるき ⇒ 意見交換 ⇒ 確認結果のまとめ

●：良い点 ▲：気づいた点

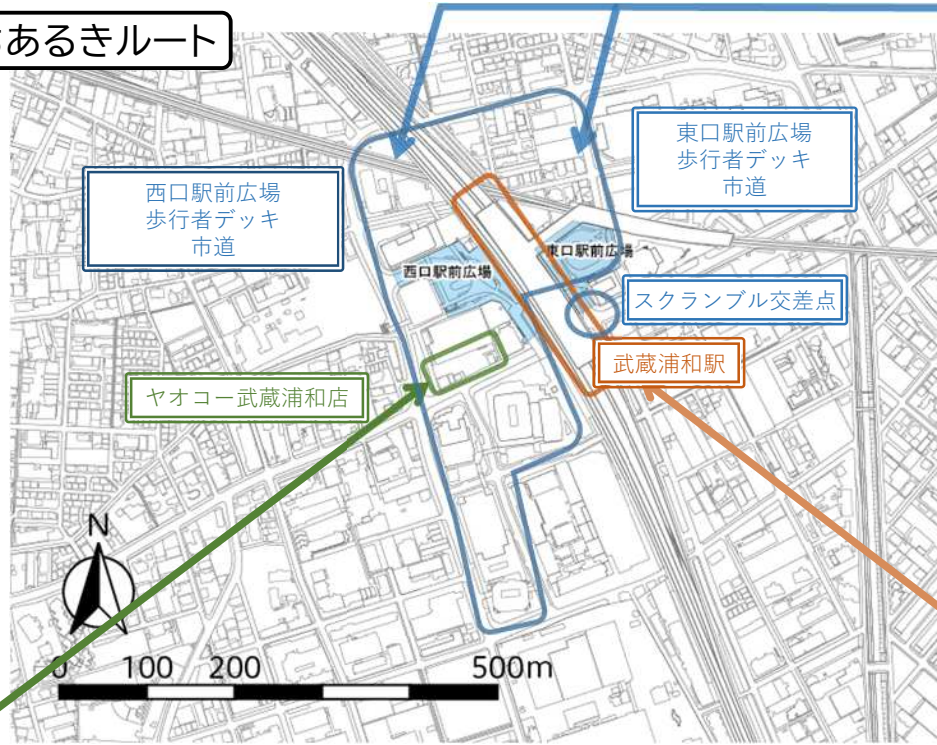
現地で誘導用ブロックやエレベーター等、バリアフリー整備状況を確認しました。



参加者全員で良い点や、課題点を整理して、共有しました。



まちあるきルート



ヤオコー武蔵浦和店



- トイレが広くてきれいで気持ちが良い。手すりも利用しやすい。
- ▲ 地震等の発災時にランプが光ってくれば、聴覚障害者でも何が起きたかわかる。
- ▲ 授乳室がどこにあるのかわからなかった。
- 車いす対応の買い物カートが置いてある。



- 通路は段差がなく、広さもあるので、ベビーカーでも動きやすい。
- エレベーターが2基あるのはありがたい。
- ▲ 3階のデッキ部から、誘導用ブロックが店舗出入口に繋がっていない。
- ▲ 耳が聞こえない人への対応として、手話や筆談に対応してほしい。

駅前広場・歩行者デッキ・道路・スクランブル交差点



- 小型サイズの車いすが通行する分には、スペースの問題はない。
- ▲ 歩行者と自転車の通行帯を分けるポールが急にあって驚く。
- ▲ 誘導用ブロックの色が薄い。歩道の色との識別が難しい。
- ▲ 路側帯が狭く、特に道路標識が立っているところはベビーカーだと車道にはみ出して通行する必要がある。
- ▲ 車両進入禁止の路面表示が薄く、消えかかっていた。
- ▲ 段差があり、つまづきやすい。
- ▲ 武蔵浦和ショッピングスクエア前の交差点は、武蔵野銀行側の待機スペースが非常に狭い。
- ▲ 交差点の角に車止めのポールがあった方がよいのではないかと。



案内板が雨を防げるところにあるとよい。

- ▲ トイレの場所がわかりにくい。駅から見てトイレだとは思わない。
- ▲ バリアフリートイレの照明がつかない。
- ▲ カッコー、ピヨピヨが交互に鳴るので、混乱するのではないかと。
- ▲ 信号の横断可能な時間が短い。斜め横断するには時間が足りなさそう。
- デッキは広さが十分にある。歩きやすい、安心。
- 勾配が少なく歩きやすい。
- ▲ 誘導用ブロックが不必要に直角に折れ曲がっている。
- ▲ 改修工事のカラーコーンが誘導用ブロックを塞いでいる箇所があった。
- ▲ 案内板の地図が2012年のもので情報が古い。

武蔵浦和駅

- エスカレーターの表示がわかりやすい。
- 有人改札の低い位置に「車いすご利用の方専用ボタン」が設置されている。
- 券売機に蹴込みがあり、車いすも近づける。
- ▲ 駅員を呼び出す際にボタンを押しても、音が聞こえないため押せたかどうかわからない。(聴覚障害者)
- ▲ 情報量が多い。音や光に敏感な人もいる。



- トイレの案内表示が明るく、見えずわかる。
- 券売機はテンキーで金額を入力できてよかった。(視覚障害者)



出典：JR東日本HP